

企業名：           フィード・ワン          

### 1. この会社が目指す姿が理解できるか

この会社の経営理念として、畜・水産業界の持続的発展に貢献し、食の未来を創造するという「Mission」、食の安心と感動を与え続ける企業を目指すという「Vision」、常に顧客・消費者の目線から問題解決に取り組むこと、コンプライアンス経営の徹底、高い専門性を持ち時代の変化を捉えて常にチャレンジする人材の育成、社会の信頼に真摯に答えることを掲げた「Values」の3つの要素が記されていた。また、コーポレートスローガンとしては、「おいしさのみのもと」を掲げ、フィード・ワンが資料を作り届けていることを知ってもらいたいと記されていた。これらがこの会社の目指す姿であると考えられるが、まず経営理念からは食の観点から社会に貢献すること及び社会問題解決へ貢献することが会社の目指す姿であることが理解できた。一方、コーポレートスローガンに記載されていた「1人でも多くの方に知っていただきたい」という部分には疑問を持った。これは知名度を上げることを意味していると考えられるが、この他には言及がなく、多くの人に知ってもらおうというのは会社の目指すものであるのかどうか、不明に感じた。

### 2. この会社の競争優位性が理解できるか

この会社が食のバリューチェーンの最上に位置する飼料を製造し、かつ食肉や水産物の販売にも携わっており、社会において食の安定した供給を支えているということは報告書の至る所から読み取ることができた。しかしながら、同様の取り組みを行う企業との比較や取り組みの差異などが分からなかったため、競争優位性を明確に理解することはできなかった。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

この会社では畜産・水産関係者へのコンサルティング営業や、取引先とのパートナーシップの構築、株主・投資家への情報発信など、ステークホルダーとのコミュニケーションに重点を置き、携わる人たちからの信頼を受けていると感じた。この点は企業の取り組みを長く続けていくことにおいてプラスに働くと考えられる。

また、この会社は現在、第3次中期経営計画「Make the leap! 2023」を進めている。この計画では、第2次までの中期経営計画で強化された事業基盤を活用して収益力を高めることで持続的成長を目指している。第2次中期経営計画までは成果を上げているため、今回も目標に到達することが望まれる。この第3次中期経営計画が成功すれば、収益が安定し事業のさらなる拡大もできるため、この会社の競争優位性は持続力を増していくだろう。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

この会社は従業員を育てることを大切に考えているとしている。具体的には、ロジカルシンキングや問題解決能力など、各従業員の段階で必要となる能力を身につけられる階層別研修や自己啓発支援を行い、従業員の成長をサポートしている。さらに、向上心のある従業員に対しては通信教育の受講や資格取得などの費用・奨励金の支給なども行っている。これらの制度により、従業員の価値向上を見込むことができると考えられる。

#### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

2の競争優位性の理解のところで述べたが、この会社の企業価値をより明確に伝えるために、同業企業との比較や取り組みの差異、業界の中でどれだけの収益・事業の大きさを占めているのかを示す図があるとよいと感じた。

また、社長・副社長のコメントが対談形式で載せられていたが、ひとつの質問に対し回答が細かく長いためどこが重要な点なのかを読み取るのに苦勞を要すると思った。そこで、質問の後に回答の重点または要約を記載してから全文を載せるなどの改善を図るとよいと考えられる。